

## 2018 大人の休日倶楽部パス利用の八甲田山山行+α

6/24 (日) 日本三秘湯谷地温泉/青森 (ニホ薬師温泉/北海道・祖谷温泉/徳島)

八甲田山麓に開湯 400 年を誇る日本三秘湯「谷地温泉」があります。<http://www.yachionsen.com/>

(注) あまり秘湯らしくないので、宿の主人にここが秘湯の由縁は何かと訊いたが分からないとのことでした。

山の中の一軒宿といった風情で、古びた木造の建物は趣があり、周辺は高山植物が自生する谷地湿原が広がっています。谷地湿原は温泉側の展望台から眺めるだけで、湿原には一般人は近付け(入れ)ません。一失言ですが私は内緒でこそっと藪漕ぎして入り 10 枚程写真を撮りました。一湿原だけに水分が多くあまり歩き回れず深みにはまり救助要請になると大変なので早々に脱出しました。いろんな苔や水性植物、昆虫が多そうです。

宿の温泉の泉質は単純硫黄温泉で足下から湧出の 38℃ の下の湯と 42℃ 上の湯があり、ヒバ造りの浴槽が特徴であり熱くなく長時間入るにはいい湯でした。

谷地温泉の正面に高田大岳(標高 1552m)の登山口と散策路があります。

写真アルバム:「谷地温泉・谷地湿原」

<https://drive.google.com/drive/folders/1A672x2ymAmCrgkp-H5IE3c7ZcwwJeOF?usp=sharing>

6/25 (月) 宿の車で八甲田ロープウェイ駅まで送ってもらう。

きのうは風が強く(25m/m 以上)ロープウェイは運行を一時中止したらしい。

幸い今日は運行しているが山頂公園に着くと風はかなり強く、気温も低く寒いぐらい。

全員風防と防寒を兼ね雨具の上着と手袋を着用してほぼ 10:00 にスタートする。

行程は、八甲田ロープウェイ山頂公園駅 10:00～田茂菴岳(1324m)～赤倉岳(1541m)～井戸岳(1537m)～大岳避難小屋(昼食)～八甲田大岳(1585m)～小岳分岐～仙人岱～16:30 酸ヶ湯温泉(泊) <http://www.sukayu.jp/>

霧もでて周辺の景色はほとんど見えない。時々風で霧の切れ間に見える。

赤倉岳手前にはすりばち状の爆裂火口があり、山頂には宗教法人八甲山神社の、石で造られた祠がある。赤倉岳の標識は登山路途中のえっこんなどこ?と言うような場所にひっそり立っている。

大岳避難小屋手前と八甲田大岳から小岳分岐までいくつか雪溪のトラバース、登り降りが何度かありましたがアイゼンを必要とするような状態ではなかった。仙人岱から酸ヶ湯温泉まではガレ場が続き時間の長く感じられる下りでした。

参考:① <http://www.hakkoda-ropeway.jp/service/trekking> ② <http://tabihon.jp/j100/100-11/>

写真アルバム:「谷地温泉～八甲田山～酸ヶ湯温泉」

<https://drive.google.com/drive/folders/1TG6lj2qZc4Pc9R5vxFw9NwaxWVMRN7BH?usp=sharing>

6/26 (火) 天気は昨日と変わり時折青空も見える穏やかな陽気でした。酸ヶ湯温泉 BT から十和田湖行のバス(9:20 みずうみ 4 号)に乗車石ヶ戸で下車し、奥入瀬溪流に沿って石ヶ戸～馬門岩～雲井の滝～玉簾の滝～銚子大滝まで約 8Km 弱歩く。溪流沿い樹林は新緑から深緑へと変わりつつあり時折差し込む陽に映えて、溪流の流れの緩急にもマッチし綺麗でした。銚子大滝 BT でバスに乗車し終点

の八戸駅西口に行く。ここで帰京組と分れ、残留組は八戸線久慈行 18:22 で種差海岸駅に向かう。駅直ぐ傍の民宿宝海荘に宿泊 到着時間も遅かったので即入浴し汗を流してから、海の幸オンリーの宿の料理を肴に3日間の最後の晩餐。

参考: ① <http://towadako.or.jp/sansaku-map/oirase-nenokuchi/>

② [https://www.aptnet.jp/Detail\\_display\\_00000339.html](https://www.aptnet.jp/Detail_display_00000339.html)

写真アルバム:「奥入瀬溪流～八戸駅～種差海岸宝海荘」

<https://drive.google.com/drive/folders/1SWjr44dDIWTVSZpgqwBNtokIbVOxtnXU?usp=sharing>

6/27 (水) 朝から小雨がパラツク天気 雨具の上下までは必要なさそうなので上だけ着用し傘をさして出かけた。天気の状態から判断して荷物は宿に置き空身で行くことにした。種差海岸は初めてだが三陸復興国立公園・国名勝「種差海岸」となっている。まず海岸の浜全体が天然芝の広大な種差天然芝生地にでて遊歩道に沿って散策する。 残念ながら、どんより曇った雨空で空と海の境界線がはっきりせず、芝生の緑も冴えない。

海岸の岩陰にニッコウキスゲの群生が観られる、ちょうど良い咲き具合できょうの天気の中で唯一救われた思いがした。さらに歩くと震災の津波の被害もなく生き残った松並木が続いている。

その松の根元に黄色く咲くニッコウキスゲの群生が松林を引きたてている。

海岸から少し離れた岩場に白く点々が多数みられる、よく見るとウミネコの群れです。この先の蕪島がウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている。きょうは、天気もさることながら時間的に無理なので行くのは省略。その他見るべきものは季節によっていろいろありそうで、これから7月はいいところだと思う。

参考: ① <https://hachinohe-kanko.com/special-top>

② <https://hachinohe-kanko.com/course/michinoku-trail>

雨の中、早々に種差海岸から離れ、昼食は「みろく横丁 (屋台村)」で摂ると言うことで本八戸駅に向かう。昼も多分賑わっていると予想して行ったのですが横丁入口角のラーメン屋一軒だけやっていました。東北の人はみなさん真面目で昼から飲み食いしてる場合じゃないのかも知れません。夜は多分いい雰囲気のところだと思います。横丁入口、出口には「**運氣向上横丁**」「**ここを通り抜けますと運氣が向上します**」と書かれた標識が立っている。

飲食せずただ通り抜けた我々も運氣が向上するか今後が楽しみです。

参考: ① <http://36yokocho.com/>

② [https://hachinohe-kanko.com/kanko\\_data/miroku-yokocho](https://hachinohe-kanko.com/kanko_data/miroku-yokocho)

写真アルバム:「種差海岸～みろく横丁～八戸駅」

<https://drive.google.com/drive/folders/1O1UXTymC-vhB2bV4qfKGOvegCs7dJi5q?usp=sharing>

今年で3、4年続いている大人の休日倶楽部パス利用の八甲田山山行+αも終わりました。

来年もまたどこかに行ける「運氣」に期待します。

2018.6.30 三浦記